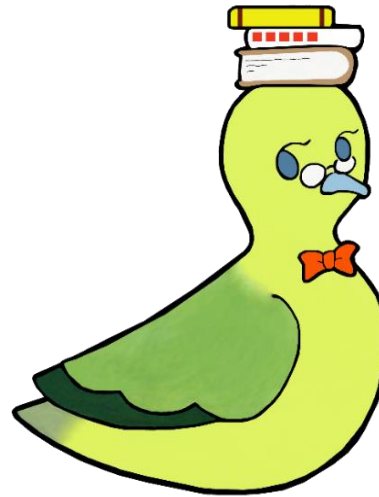


たるばとプロジェクト

小樽市子どもの読書活動推進計画
市立小樽図書館子ども読書事業

令和2年事業報告及び令和3年度取組案



市立小樽図書館

※下線部は、重点内容

たるばとプロジェクト	事業名	内容	令和2年度取組案	令和2年度実績	令和2年度自己評価	令和3年度取組案
1 子どもの発達段階に応じた読書に親しむ機会の提供						
本との出会いを生み出す	小樽市ブックスタート事業	小樽市ブックスタート協議会の構成員として、保健所で実施する乳幼児健診時に絵本の贈呈や紹介などを行う。	・ブックスタート時におすすめの本をわかりやすく整備するなど、 <u>図書館の赤ちゃんえほんコーナーを充実させる。</u>	・新型コロナウイルス感染拡大防止により、保健所では、乳幼児健診を実施しなかったため、ブックスタート事業として読み聞かせ等を行わず、保健所と小児科で本を贈呈した。 【新規】・図書館内に、ブックスタート時のおすすめ本のコーナーを新設した。 【新規】・新規事業として「たるびよバック」を試行し	・ <u>図書館内にブックスタート専用コーナーを設けたことで、乳幼児への読み聞かせに慣れた利用者も、絵本を手に取りやすくなった。</u>	・4月から保健所で乳幼児健診を行うが、感染症の拡大防止のため、当分の間は、引き続き読み聞かせ等は行わず、本の贈呈のみを行う。感染症の状況により、読み聞かせ等の再開を検討する。
	【新規】 たるびよバック（*）	ブックスタート時におすすめの本をセットにして貸し出す。	・ <u>幼保（就学前の子ども）を対象とした個人セット貸し出しを試行する。（11月頃予定）</u> <u>（※「たるびよタイム」欄から転記）</u>	・令和3年3月27日～5月12日、5冊ずつ、2種類、5セットで試行実施した。	・ <u>たるびよセットが利用される頻度は高く、セットに入れたアンケートでも、「助かった」「子どもが喜んだ」等、好評を得ている。</u>	・令和3年度内の本格実施を目指す。
本を楽しむ場の提供	たるびよタイム	乳幼児と保護者を対象に、読み聞かせや手遊びを取り入れたおはなし会や乳幼児向けの絵本の紹介を行う。	・ <u>幼保（就学前の子ども）を対象とした個人セット貸し出しを試行する。（11月頃予定）</u> ※ <u>新規事業「たるびよバック」</u> <u>として上段に記載</u>	・10月～11月のみ定員を設け、人数を制限した事前申込制に変更して感染症の予防対策を行い整理休館日以外の毎週金曜日（11時～11時30分）に実施した。全7回 計43人参加。他の期間は、道や市の外出自粛要請や市内での感染症の発生状況から中止した。 ・来館型の行事を中止にした時期には、代替としてテーマに沿った内容の児童書を中身がわからないように包み、「お楽しみ袋」として用意し、滞在時間が短くても図書との出会いを楽しめるよう工夫した	・年度内は、外出自粛の期間が多かったため、たるびよタイムの実施できた時間は、家庭以外の場所でも子どもを楽しめる貴重な時間となり、参加者は喜んでいて。 ・マスクや消毒の使用に危険があり、感染症対策を十分には行えない乳幼児を対象としているため、感染症の状況による中止も止むを得なかった。	・引き続き、定員を設けた事前予約制や北海道スタイルに沿った対応をし、参加者が、安心して楽しめるよう実施する。

たるばとプロジェクト	事業名	内容	令和2年度取組案	令和2年度実績	令和2年度自己評価	令和3年度取組案
	たるばとクラブ	季節や行事に合わせて、幼保や小学生を中心とした子ども向けのイベントを行う。	・チラシ配布先を増やすなど、広報を充実させ、より多くの参加となるよう毎回の内容を工夫する。	・10月～11月のみ定員を設け、人数を制限した事前申込制に変更して感染症の予防対策を行い、第1・第3土曜日（午後2時～3時）に実施した。全4回 計36人参加。他の期間は、道や市の外出自粛要請や市内での感染症の発生状況から中止した。 ・ <u>来館型の行事を中止にした時期には、代替として「おたのしみ袋」（「たるびよタイム」参照）を実施。</u>	・予定通りに実施できることの方が少なかったが、新北海道スタイルでできることを工夫したり、ボランティアと連携して実施することができた。	・引き続き、定員を設けた事前予約制や新北海道スタイルに沿った対応をし、参加者が、安心して楽しめるよう実施する。 ・定員を設け、参加人数が制限されることを生かし、より深い内容になるよう工夫する。 ・ボランティアや他機関とも連携する。
	おはなし会	学校/幼稚園/保育所/町内会等からの依頼により、図書館内外の様々な場所で、読み聞かせを行う。	・同様に各機関からの依頼に応じ、各機関の対象者層に応じて内容を更に充実させ実施する。	・人が集まる行事の開催を自粛しているため、本事業の利用なし。	・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、積極的なPRを控えた。	・同様に各機関からの依頼に応じ、各機関の対象者層に応じて内容を更に充実させ実施する。 ・感染症の状況等、開催に心配がなくなれば、積極的にPRをし、利用につなげる。
	子どもシアター劇場	年に2回程度、子ども向けの長編アニメ映画を上映する。	・映画を楽しむ時間を共有する場として、9月、3月で年2回実施予定（内容は未定）	・新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。	・映画の上映は長時間、同室で一緒に過ごすことになる事業であり、子どもを対象としているため、新北海道スタイルでの実施は困難と判断し中止した。	・短編映画での開催も考えながら、感染症等の状況により実施を検討する。
	幼保ブックフェスティバル	依頼があった幼稚園や保育所に200冊程度の本を持参し、読み聞かせやエプロンシアターを行ったり、本の貸出しの機会を提供する。	・同様に依頼を受け実施する。 ・新規の利用機関を開拓するため、広報を充実させる。	・2件を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。	・コロナ禍であり、人が集まり、接触が増える事業であることから、積極的なPRを控えた。	・同様に依頼を受け実施する。 ・感染症等の状況から、開催に心配がなくなれば、PRをし利用につなげる。
	わくわくブック号がやってくる	移動図書館「わくわくブック号」が学校、幼稚園、保育所などを訪問し、車内の見学や図書館の使い方を紹介し、絵本の貸出しを行う。	・同様に実施する。 ・ <u>移動図書館バスの運行として、学校をステーションとする運行を試行し、効果など検証する予定。（2学期以降）</u>	・ <u>小学校2校で8回実施した。</u> ・ <u>学校を移動図書館のステーションとする試行を「わくわくブック号がやってくるプラス移動図書館大作戦」として、7回実施。授業支援など他のメニュー利用につなげた。</u>	・ <u>図書館から離れた場所にある地域でも、付近の学校で本事業を実施することにより、本を楽しむきっかけを作ることができた。</u>	・同様に、バス内の人数を制限し、実施する。 ・ <u>学校を移動図書館のステーションとする運行の試行を継続する。</u>

たるばとプロジェクト	事業名	内容	令和2年度取組案	令和2年度実績	令和2年度自己評価	令和3年度取組案
	出張展示会	様々な施設や機関と連携して資料展示会を開催する。	・中高図書館などと連携した移動展を予定。（2学期以降）	・中学校2校から2件の取組を館内で紹介した。 ・教職員やボランティアの協力を得て図書館で開催した資料展示を小学校4校で移動展として実施した。	・学校での活動を公共の場で紹介し、好評であった。 ・資料展示は、利用者が随時楽しめる事業であり、北海道スタイルを守りながら、情報や読書の楽しさを伝えていくことができる事業である。	・中学校や高校の図書館などと連携した取組を予定している。
	大型絵本・エプロンシアター等の貸出し	学校、幼稚園、保育所、団体等に図書館で所蔵する大型絵本、エプロンシアター、パネルシアター、アニメDVD等を貸し出す。	・大型絵本選び方ガイドの作成を開始する。	・カウンターで316点、学校支援で34点の貸出しをした。	・幼児やボランティアの活動を支援できた。 ・ボランティア団体と連携し、大型絵本選び方ガイドの作成を進めた。	・引き続き大型絵本選び方ガイドの作成を進める。
	貸出文庫	放課後児童クラブや児童デイサービスなどに各施設30～40冊程度を長期間貸し出す。（1か月～1年目安）	・同様に依頼を受け、幅広い内容の本を手に入る機会となるよう選書に配慮して実施する。	・計17施設に累計59回2370冊の貸出しを実施した。 ・新規の利用が2校で4件あった。	・放課後児童クラブや児童デイサービスなど、それぞれの施設の状況に応じた読書環境支援に努めた。	・同様に依頼を受け、幅広い内容の本を手に入る機会となるよう選書に配慮して実施する。
学校との連携による読書に触れる機会の提供	学校ブックフェスティバル	依頼があった学校に約1,000冊の児童書を広げ、多くの本から選ばれたお気に入りの本の貸出しを行う。	・同様に依頼を受け実施する。 ・新規の利用機関を開拓するため、広報を充実させる。	・小学校2件で実施した。 ・1件が感染症拡大防止のため中止となった。	・教職員やボランティアと連携し、北海道スタイルで実施することができた。 ・学校の行事も中止が相次いだ年に、児童が喜ぶ事業を実施できた。	・同様に依頼を受け実施する。 ・感染症の拡大防止に十分に配慮し、一度に参加する人数を考慮して必要であれば同施設で複数回に分けて実施する。
	職業体験（インターンシップ）	司書の職業体験として本の整理や貸し出しなど、最大4人まで1～2時間程度の職業体験をする機会を提供する。	・同様に実施する。	小学校1件で実施した。	・北海道スタイルでサービスする施設側の工夫を参加者に伝え、感染症の拡大予防をしながら実施できた。	・利用希望者からの依頼を受けて、利用者と参加者との両方に感染症の危険がないよう、十分に配慮して実施する。
	こしょナビ（「調べもの応援タイム」から名称変更）	夏・冬休みなどに図書館の児童室内に特設コーナーを設け、司書が本の調べ方についてのアドバイスをする。	・新型コロナ関連で開催時期検討中。 ・読書感想文のおすすめリストを改訂する。 ・参加者を増やすため、広報を充実させる。	・新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止。 ・読書感想文のおすすめリスト改訂版は7月に配付した。	・夏休みの期間が短縮となり、密を避けるため中止した。 ・利用者の本選びの時間を短縮するためにも、おすすめリストは有効であった。	・夏休みに合わせて7、8月に実施予定。 ・読書感想文おすすめリストを今年度の課題図書・指定図書に合わせ改訂する。
	調べ学習利用	学校から依頼を受け、学習の理解を深めるため、図書館での調べ学習の場を提供し、調べもののアドバイスを行う。	・利用事例をたるばとレポートなどでPRし、利用を促進する。	・感染症拡大防止のため、休校になった期間も多く、学校で行える授業数が限られていたため、利用なし。	・左記の理由により、積極的なPRを控えた。	・利用事例をたるばとレポートなどでPRし、利用を促進する。
	授業支援	学校からの依頼に応じて、百科事典の使い方、調べ学習、ブックトーク、様々なテーマの本の紹介等を行う。	・利用事例をたるばとレポートなどでPRし、利用を促進する。	・小学校9校で16回実施した。 ・図書館施設見学に対応するため訪問型のメニューを新たに設けた。	・ブックトークやアニメーション、百科事典の引き方など、様々なスタイルで授業を支援し、その後の図書館利用につなげることができた。	・同様に依頼を受け実施する。

たるばとプロジェクト	事業名	内容	令和2年度取組案	令和2年度実績	令和2年度自己評価	令和3年度取組案
	講師派遣	高文連や学校図書館関係研修に講師を派遣する。	・同様に実施する。	・各地で人が集まる行事は中止された状況であったため、実施せず。	・市外では、研修など人が集まる場所での感染例もあったため、今年度は実施しない判断となった。	・7月に1件を予定 ・同様に依頼を受け実施する。
	施設見学・利用案内	学校/幼稚園/保育所等の依頼を受け、図書館の見学、使い方の案内、読み聞かせ等を行う。	・利用体験の実施を促し、新規開拓を図る。 *1学期は受け入れ中止。（新型コロナウイルス感染拡大防止のため）	<u>訪問型のメニューを新たに設けた。</u> 従来の来館型は小学校6校で11回、訪問型は小学校8校で12回実施した。	・新北海道スタイルでの実施のため、様々な工夫を凝らし、各学校の状況に応じて対応することができた。	・同様に依頼を受け、来館型での人数を制限して、手指の消毒を確実に行うなど、感染症対策を講じながら実施する。 ・ <u>来館型、訪問型に加え、事前に図書館で館内の様子を撮影した動画による「バーチャル図書館見学」を実施する。</u>
	その他	子どもの読書関連の案内等	・新型コロナ関連で配布時期検討中。	・改定された教科書に合わせ、教科書の内容をより興味をもって理解できるよう、教科書に関係のある本のリストを作成した。 ・年齢（学年）別おすすめの本リストを作成し、期間限定で館内に設置した。 ・例年実施していた、新1年生への図書館PRは、児童の図書館への来館を促すほどには、感染症の状況が回復していなかったため、中止した。 ・YA向けパスファインダー（調べ物の参考書等の紹介）1件を作成し、館内配布とHPで公開した。	・教科書に関係のある本は、ホームページからでも見られるようにしているので、感染症医拡大防止のため臨時休館となっていた時期にも、参照ができるものだった。	・子どもの利用者カード作成を促す館内掲示や配付物を作成する。
2 子どもの読書活動に関する普及啓発						
啓発事業	春の子ども読書週間	子ども読書週間（4/23～5/12）の行事として、おはなし会、展示、ゲーム、人形劇等を行う。	・こぐれけいすけ手作り絵本読み聞かせ動画公開。 ・お楽しみ袋/年齢別おすすめ本リスト発行/資料展示（期間中は、臨時休館が続いたため、時期をずらして実施予	・こぐれけいすけ（小樽在住絵本作家）手作り絵本読み聞かせ動画公開。 ・お楽しみ袋/年齢別おすすめ本リスト発行他を行った。	・外出がままならない時期に、読み聞かせの動画を配信できたので、少しでも家での楽しみに寄与できた。動画には、アクセスも多く、好評だった。	・感染症拡大防止のため、集う行事は避けながら、図書館の来館を楽しめる展示等を行う。

たるばとプロジェクト	事業名	内容	令和2年度取組案	令和2年度実績	令和2年度自己評価	令和3年度取組案
	としょかん発わたる子ども読書の日	おたる子ども読書の日として、図書館で楽しめる子ども向けのイベントを行う。	・たるばとブックフェスティバルを10/24開催予定。 びっくりおはなし会／こぐれけいすけ新作発表／人形劇の会／資料展示など	・たるばとブックフェスティバルを10/24に開催し、各行事の累計として、約100名が参加した。 （びっくりおはなし会（市長による読み聞かせ）／こぐれけいすけ（小樽在住絵本作家）新作発表／人形劇の会／資料展示など）	参加者の協力により可能な限り「三密」を避けながら実施でき、感染者を発生させることなく、人の集まる行事を開催できた。参加者も楽しんでおり、1日中親子連れの利用が多かった。	・たるばとブックフェスティバルを11/3開催予定。 びっくりおはなし会（市長による読み聞かせ）／こぐれけいすけ新作発表／人形劇の会／資料展示などを予定。
	学校における読書活動の紹介	市立図書館において、小中学校の学校図書館だよりの展示や読書の取り組みを紹介する。	・事例をPRし、新規開拓につなげる。 ・ <u>児童室内に中・高図書局員による展示スペースを新設する。</u> ・今後は年間スケジュールを組んで行えるよう整える。	・西陵中読書ゆうびん／潮見台中図書局活動紹介	・児童・生徒や学校図書館の活動の周知に繋がった。 ・児童室改修のため、展示スペースの新設は見合わせ、休憩室を活用した。	・事例をPRし、新規開拓につなげる。
情報の発信	「きっずおたる」の発行	毎月、月初めに子ども向けの事業、行事、おすすめ本等について、紙媒体とホームページ上でお知らせを発行する。	・内容の更なる充実を図る。 ・幼保関係職員を意識した内容の記事も取り入れる。	・毎月発行した。	・各月に開催している展示関係の記事も載せ、本の紹介を多くしたので、読書のきっかけとなった。	・子どもの興味を引くよう、内容の更なる充実を図る。
	幼保向け「子ども読書だよりの発行	幼稚園や保育所で配布できるよう、お知らせを配布する。	・内容が「きっずおたる」と重複するため、「きっずおたる」に統合する。			
	学校図書館担当者向け「たるばとレポート」の発行	学校図書館との連携事業やおすすめ本の紹介など学校の読書活動を進めるための様々な情報を紹介する。	・同様に発行する。 ・今年度はより多くの人に原稿を依頼するなど内容の充実を図る。	不定期で5回発行した。	・コロナ禍の取組や学校司書のレポートなど、即戦力となる情報の発信ができた。	・同様に発行する。 ・教職員にも原稿を依頼するなど、更に内容の充実を図る。
	ホームページ・フェイスブックによる情報提供	ホームページに子ども読書に関わる大人と子ども向けコンテンツを作成し、子ども読書に係る事業などの情報を提供する。	・同様に実施する。 ・ <u>ホームページ上で、国語の教科書掲載図書所蔵リスト（小学校）を公開予定。</u> ・ <u>国語の教科書掲載図書所蔵リスト（中学校）の作成を開始する。</u>	・ホームページ：イベントやスケジュールについて随時案内した。 ・フェイスブック：37回のテキストと写真／11件の動画投稿	・図書館のイメージキャラクターのオリジナル折り紙やぬりえを載せた「たるばとちゃんの部屋」やお楽しみ袋（「たるびよタイム参照」）の中身リストの公開など、楽しみのためのしかけを作ることができた。 ・ <u>パスファインダーを掲載し、YA世代に向けての情報発信を開始した。</u>	・同様に実施する。 ・国語の教科書掲載図書所蔵リスト（中学校）を4月に公開 ・ <u>より幅広く調べ物に対応出来るようパスファインダーの発行を重ねる。</u>
3 子どもの読書環境の整備・充実						

たるばとプロジェクト	事業名	内容	令和2年度取組案	令和2年度実績	令和2年度自己評価	令和3年度取組案
市立小樽図書館の環境整備・充実	児童書の充実	より読書に親しむための絵本、読み物、図鑑などの充実をはかる。	・引き続き、収集基準に基づき、利用者のニーズに沿った選書に努める。	・児童書に限定した寄贈が2件あった。寄贈に際しての選書の依頼もあったため、寄贈者の要望に沿いながら、より幅広い内容となるよう寄贈を活用して児童書を充実させた。 ・劣化の目立つシリーズ本を更新した。	・日頃の利用状況を考慮し、ニーズに沿った本を選ぶことができた。 ・新着本は、多くの回数利用されていた。	・引き続き、収集基準に基づき、利用者のニーズに沿った選書に努める。
	資料展示会	様々なテーマで新刊展示、ミニ展示など、さらに読書を楽しめるよう展示を行う。	・様々なテーマで引き続き実施する。	・不定期で18件実施した。 ・作者別、他のイベント関連など多様なテーマを設定した。	・利用者の滞在時間が制限される中、本を選びやすいよう工夫することができた。	・様々なテーマで引き続き実施する。
	児童コーナーの整備	親しみやすい児童室とするため、季節に応じた飾り付けや書架づくりを行う。	・紙芝居コーナーの整備／書庫（絵本）の整備／館内表示の工夫など環境整備を進める。	・寄贈により児童室を改修し、絵本や低学年用の本を中心に配置を大きく変更し、利用しやすい書架にした。 ・低学年読み物コーナーの表示を工夫した。	・改修の作業で、利用者が利用しやすさを第一に考えた。利用者からもよくなったと好評である。 ・手作りのブックスタンドを用いるなど、排架を工夫することで、利用を促進できた。	・引き続き親しみやすい児童室づくりに努める。
	デジタルライブラリの充実	小樽の歴史に関する写真や地図などをデジタル化し、WEB上で公開することで、学校における地域学習の支援を行う。	・児童向けパスファインダーの作成を開始し、デジタルライブラリの利用方法について触れるなど活用の促進を図る。（利用開始後）	・システムの整備に時間がかかり、公開が遅れていたが、公開できる目途がたち、公開の準備準備を進めている。	・デジタル化すべき資料の選定を続けた。	・準備済みデータの公開と、新規データの作成を進める。
連携による学校図書館の環境整備・充実	スクールライブラリー便による貸出し	学校における読書や調べ学習、授業で使う本の貸出しをする。活用の期間により短期便、長期便、リクエスト便を設ける。	・学校図書館の活動を啓発する取組と捉え、意欲のある学校に対しての支援に重点をおく。	・短期便（3か月程度） 17校51回3060冊 *学校図書館の活性化が目的。 ・長期便（半年から1年程度） 7校7回2280冊 *学級文庫での活用のため ・リクエスト便（1か月まで） 19校107回1672冊 *調べ学習や並行読書等、希望の内容に応じて選書。	・コロナ禍での学校スケジュール変更にも柔軟に対応した。 ・リクエスト便は利用校数が増え、リピーターが多いことから、好評であると考えられる。	・学校図書館の活動を啓発する取組と捉え、意欲のある学校に対しての支援に重点をおく。
	学校図書館運営相談	学校図書館に不要な図書の選定や蔵書整備方法を説明する。	・同様に実施する。	・訪問での利用はなかったが、メールや電話での相談に随時対応した。	・メールや電話で解決できたことも多かったため、今後も相談しやすい関係を維持して利用に繋げた。	・同様に依頼を受け実施する。 ・4月に2件を予定

たるばとプロジェクト	事業名	内容	令和2年度取組案	令和2年度実績	令和2年度自己評価	令和3年度取組案
	学校図書館クリニック	教員やボランティアと協力しながら、古い本の整理や図書館のレイアウトの変更など学校図書館の改善を支援する。	・学校司書が新たに関わる学校での実施を予定。	・人が集まる機会を避ける一年であったため、利用なし	・コロナ禍により、積極的なPRを控えた。	・同様に依頼を受け実施する。 ・8月に1件を予定
4 子どもの読書を推進するための体制の充実						
子ども読書を支える職員の育成	学校司書支援	学校司書の研究や活動を支援する。また、学校図書・図書館連携会議において、様々な情報提供や読書活動のアドバイスをを行う。	・引き続き、学校司書の目的や状況に応じた支援を図る。	・6名 52件実施した。 ・新人学校司書のサポート	・学校司書それぞれの状況に応じた支援を行い、学校司書のスキルアップにも貢献した。	・引き続き、学校司書の目的や状況に応じた支援を図る。
	教職員研修	読書活動に関する教職員向けの研修を行う。	・同様に実施する。	・人が集まる機会を避ける一年であったため、利用なし	・コロナ禍により、積極的なPRを控えた。	・同様に依頼を受け実施する。
	子ども読書担当職員の研修会参加	北海道学校図書館や後志図書館協議会の講座等、各種研修会に参加し、子ども読書担当職員のスキルアップを図る。	・同様に実施する。	・1回参加した。 ・3月FUJITSU（リモート）	・館内職員と情報を共有し、スキルアップにつながった。	・同様に実施する。
ボランティア関係団体・機関等との連携	関係機関・団体などとの連携や情報提供	・関係機関や団体と連携し、読書活動の推進を図る。 ・読み聞かせボランティア交流会や各種研修会に講師を派遣し、育成の支援を図るほか、様々な情報提供を行う。	・引き続き開催予定。 ・参加者を増やすため、広報の充実と協力体制強化を図る。	・小樽子ども劇場人形劇サークル「ぐうちよきばあ」との連携事業を3回実施した。 *「ぐうちよきばあ」のおはなし会2回計16人参加・人形劇の会1回20人参加。	・感染症拡大防止のため、おはなし会は中止になった会が多かったが、実施できた時には、参加者が喜んでいた。	・同様に実施する。
			・引き続き開催予定。	・「札幌おはなしの会」*との連携事業は中止	・時期を変えて、2度実施を予定していたが、感染症の拡大防止のため、2度とも中止になった。	・同様に実施する。
			・「 <u>大型絵本選び方ガイド（仮）</u> 」作成を開始する。	・「小樽子どもと本をつなぐ会」*と連携し、月例会7回実施。「大型絵本選び方ガイド（仮）」を作成中	・新北海道スタイルで月例会を行い、情報を共有することでそれぞれの活動に役立てることができた。	・同様に実施する。
				・「たるBOOK」との連携事業を1回実施した。	・新北海道スタイルでの行事開催で様々な工夫と配慮をし、参加者に好評であった。	・同様に実施する。

たるばとプロジェクト	事業名	内容	令和2年度取組案	令和2年度実績	令和2年度自己評価	令和3年度取組案
			・「たる読まっぷ」改訂版（豊倉小閉校など）発行を予定している。	・改訂版未発行	・コロナ禍で活動休止の団体が多いため、改訂版の発行は見合わせた。	・「たる読まっぷ」改訂版を発行を予定している。